平成29年度　就労部会

【昨年度の経過】

〇昨年度、部会の方針
・課題を整理し、取り組むべき課題を共有するとともに対応策を検討する。
・就労関係機関の取り組み内容を確認し、共有する。

〇これまでの経過のポイント
平成27年度に提出された課題について、設定した課題が大きすぎ、考えづらくなっていたため、課題ツリーを利用した課題整理を行う。数多く上げられた課題の原因を1つ1つ解決していくことで、100%の解決でなくても、取り組んだこと1つ1つも成果として考え、より良い方向へ進めていく方針。複数の中から、部会としてH29年度、取り組んでいくものを決定した。

【今年度の方針】

企業が就労支援事業所を見学できるようなシステムの検討。
実習先開拓にかかる情報交換と実態確認。

【具体的取り組み】

・企業が障害者雇用をしたいと思って、障害者や訓練現場を見学したいと考えた時にタイムリーに就労支援事業所を見学できるようなシステムづくりを検討する。⇒ワーキングへつなげていけるよう検討していく。

・（就労支援事業所からの）企業実習の開拓にあたり、実習に出したい目的や、実際に実習に出られる人の人数などの確認が必要であるため、まず、部会員同士で情報交換し、実態等を確認する。

・「就労関係機関シート」と「取り組み内容一覧表」を精査し、いずれ外部に発信できるように検討する。